

第 26 回大宮祭

新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン

第 26 回大宮祭実行委員会
協力：上部団体・大宮祭 OBOG

【目次】

0.	はじめに	p.1
1.	本ガイドラインについて	p.1
2.	全体での共有すべき基本的ルール	p.2
3.	実行委員が講じる対策	p.2
4.	来場者に関して講じる対策	p.3
5.	参加団体さまに関して講じる対策	p.4
6.	その他各企画における予防措置	p.5
7.	大宮祭開催における基準	p.9
8.	緊急時の対応	p.10
9.	参考資料	p.11

0. はじめに

本ガイドラインは、第 26 回大宮祭を実施するにあたり、みなさまの健康のため、そして安全に本学園祭を実行するために第 26 回大宮祭実行委員会（以下、実行委員）が独自に新型コロナウイルス感染症対策を設定したものである。内閣府の定めるガイドライン、芝浦工業大学の示す活動方針に則り作成を行っている。ハイブリッド開催、オンライン開催のいかなる開催形態においても当ガイドラインを参照いただくこととする。

また、今後の感染状況により、変更点が生じる可能性がある。

1. 本ガイドラインについて

実行委員及び、企画における参加団体、大宮祭来場者が大宮祭に向けた準備日及び、当日に適用する。

2. 全体での共有すべき基本的ルール

①飛沫の抑制の徹底

適切なマスク（不織布を推奨）を正しく着用（鼻から顎までを覆うようにして着用）する。以下、「マスクを着用」とする。

②手洗い、手指・施設消毒の徹底

- ・こまめな手洗い
- ・手指消毒の徹底
- ・不特定多数の人が触れる場所の定期的な消毒

③「三つの密」の回避（密閉・密集・密接）

身体的距離の確保（最低1メートルを目安とする。）

④全体周知

- ・会場内では以上の基本的ルールに基づき、場内外アナウンスやボードの掲示、SNSの利用で周知を行う。
- ・ガイドラインに従わない場合には退場していただく等の措置をとることを事前に告知する。
- ・新型コロナウイルス接触確認アプリ（COCOA）のダウンロードの促進

Google Play: <https://play.google.com/store/apps/details?id=jp.go.mhlw.covid19radar>

App Store: <https://apps.apple.com/jp/app/id1516764458>

3. 実行委員が講じる対策

①体調管理

実行委員は開催2週間前から以下のことを義務づける。

- ・体温測定：起床後に体温を測定
- ・健康チェック：倦怠感や咳、食欲低下の有無等の健康状態を記録

※以上2点をGoogleフォームにて2週間前から管理

GoogleフォームのURL: <http://健康チェックフォーム>

②大宮祭参加条件

以下に該当した場合は、対面での大宮祭への参加を認めない。

- ・当日または前日に発熱がある者（目安として37.5度以上、または37.5度未満でも平熱よりも高い）
- ・咳・下痢・味覚障害・嗅覚障害・だるさ・息苦しさ等の症状がある者
- ・新型コロナウイルス感染症陽性判定を受け、現在医療機関に自宅待機指示を受けている者
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がある者
- ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる者
- ・過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地

域等への渡航及び当該国・地域の在住者との濃厚接触がある者

③その他

- ・原則としてマスクを着用し、こまめな手洗い、手指の消毒を徹底する。
- ・実行委員の緊急連絡先などの名簿を作成する。
- ・前日、当日の行動記録をシフトで把握し、1カ月保管する。
- ・控室を利用する際には、なるべく短時間の利用に努め、密にならないようスペースに応じた利用可能人数を決定（下記に記載）し、その定員内での利用に努める。
- ・実行委員はマスク着用の上、相互間で最低1メートルを目安に身体的距離が確保できるよう、人数を必要最小限に限定する。
- ・食事可能な場所、屋台企画の飲食スペース（生協前ベンチ、大学会館1階、斎藤記念館）のみとする。
- ・換気を定期的に行う。

表1. 各控室の収容人数

教室	人数	教室	人数
2101	60	3305	54
2102	90	3307	54
3205	54	3308	54
3207	54	3309	54
3208	52	3310	15
3301	120	3401	120
3302	120	3402	120
3303	54	3403	54
3304	54	3404	54

4. 来場者に関して講じる対策

①来場者の情報取得

- ・内容（以下、個人情報）：氏名、住所、連絡先（電話番号）、同行者の情報
- ・手段：入場時に記入する。

②来場者への周知及び確認

- ・入場時の検温体制を整備し、来場者に検温への協力を求めること
- ・発熱がある（目安として37.5度以上、または、または37.5度未満でも症状がある場合や平熱よりも高い）場合には、入場をお断りすること
- ・個人情報の管理を実行委員が行うこと

- ・新型コロナウイルス感染症陽性判定を受けていないこと、または、現在自宅待機指示を受けていないこと
- ・後日、会場内に感染者がいたことが判明した場合に保健室などに情報を伝える可能性があること
- ・開催日 14 日以内に政府から入国制限ならびに入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航がなく、またその当該国・地域の在住者との濃厚接触がないこと
- ・咳・下痢・味覚障害・嗅覚障害・だるさ・息苦しさ等の症状がないこと
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がないこと
- ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる方がいないこと
- ・来場者は、マスクを持参し、会場内ではマスクを着用すること
※マスクを着用していない方は入場不可或いは購入して頂くようにする。
- ・一般的な禁止行為と同様、実行委員の指示に従わない場合退場をお願いすること
※感染予防・感染拡大防止対策に基づいた禁止行為：マスクの不着用、大声による発声等
- ・入場時の手指消毒を徹底すること
- ・入場後に気分が優れなかったり体調を崩したりした方は、近くの実行委員にお声がけしていただくこと
※新型コロナウイルス感染症の症状の場合は、本ガイドライン 8. 緊急時の対応で対応する。

5. 参加団体に関して講じる対策

①参加の条件

- ・当日または前日に発熱がないこと（目安として 37.5 度以上、または 37.5 度未満でも平熱よりも高い）
- ・咳・下痢・味覚障害・嗅覚障害・だるさ・息苦しさ等の症状がないこと
- ・新型コロナウイルス感染症陽性判定を受け、療養が終了していること
- ・新型コロナウイルス感染症の陽性と判明した者との濃厚接触がないこと
- ・同居家族や身近な知人の感染が疑われる方がいないこと
- ・過去 14 日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航及び当該国・地域の在住者との濃厚接触がないこと

②参加団体への周知及び確認

- ・原則としてマスクを着用し、こまめな手洗い、手指の消毒を徹底すること
- ・氏名、住所、連絡先を把握し、名簿を作成する。名簿は 1 カ月、実行委員が保管する。また、それらの情報が必要に応じて保健室等へ提供される可能性があることを事前に周知すること

- ・控室では、密にならないようスペースに応じた利用可能人数を決定し、その定員内において、可能な限り短時間での利用を行うこと
- ・マスク着用の上、相互間で最低1メートルを目安に身体的距離が確保できるよう、役割を兼任する等の工夫を行うことにより、人数は必要最小限に限定すること
- ・身体的距離の確保が困難な場合、フェイスシールド等、身体的距離を置くことと同等の効果を有する措置を講じること
- ・設営準備、撤去等において、十分な時間を設定し、密な空間の発生防止に努めること
- ・食事は、屋台企画等の飲食スペースでとるようお願いすること
- ・各団体の教室（控室含む）や屋台設置場所などでは食事しないようお願いすること
- ・スタッフは準備及び開催中に手洗いや手指消毒を徹底すること
- ・食品を扱う場合には手袋を着用し、こまめに取り替えること
- ・食事中の会話は控えること

6. その他各企画における予防措置

【ステージ企画】

①入場時

- ・入場動員数 473人
- ・体育館入口前では密にならないように誘導する。
- ・係員の指示に従うよう呼びかける。

②場内・開演中

- ・ダイブ・モッシュ等の危険行為は禁止する。
- ・大声を出さないよう注意を呼びかける。
- ・場内においてはマスク着用をお願いする。
- ・鼻出しマスク、顎マスクの方を見かけた場合、スタッフが声をかけ、マスクを正しく着用するようお願いする。
- ・場内後方シートエリアにおいて、グループごとに1m以上の距離を開けてる。
- ・シートエリアでは着席した状態での鑑賞をお願いする。
- ・こまめな手指の消毒をお願いする。（出入りに消毒用アルコールを用意する）
- ・場内での食事は禁止する。

③退場時

- ・退場時は分散での退場となるため、係員の誘導に従うよう呼びかける。

【教室企画】

①換気

- ・ドアは常時開放する。企画によってはできない場合や雨の場合は、1時間に1回、窓を開けて換気を行う。

②消毒

- ・各階複数の場所に消毒液を設置し、手指の消毒を呼びかける。
- ・机や椅子、手すりなど、高頻度で人が接触する部分は1時間おきに消毒をする。

③人数制限

- ・各教室内の人数が既定の人数を超えた場合は入場制限を行う。
※方法：各教室前で、来場者に身体的距離を確保したうえでベルトパーテーションを用いて廊下に並ぶ。(各団体にお願いする)
※規定人数：来場者と参加団体の人数の合計を**教室の収容人数の 1/3 以内**に収める。

表 2. 各教室の収容人数

教室	人数	教室	人数
2103	70	2302	70
2201	70	2303	38
2202	70	2304	36
2203	38	2305	36
2204	36	2306	36
2205	36	2307	36
2206	36	2308	36
2207	36	2401	70
2208	36	2402	70
2301	70		

④注意事項

- ・飲食物の提供を伴う企画は禁止する。

【屋台企画】

①消毒

- ・各屋台に消毒用アルコールを設置し、来場者に手指の消毒を呼びかける。
- ・当日は、2時間おきに屋台及び手が触れるような調理器具や机や椅子などを消毒する。

②制限

- ・床に1m以上間隔をあけた印をつけて、来場者にはそこに並んでいただくことで列を整理する。
- ・飲食スペースを、大学会館の1階・生協前のベンチ・斎藤記念館に設け、飲食スペース以外での食事を禁止する。禁止にあたり、販売時に参加団体から呼びかけを行うとともに構内にポスターを設置する。
- ・飲食スペースにおいても、食事以外はマスクの着用をお願いします。
- ・飲食物の取扱いに関して、調理以外の企画参加者においてもビニール手袋の着用を必須とする。また、2時間おきを目安に手指洗浄・消毒を行う。
- ・出店する屋台の場所を例年に追加して生協前にも展開し間隔を十分に空ける。

(図1・図2)

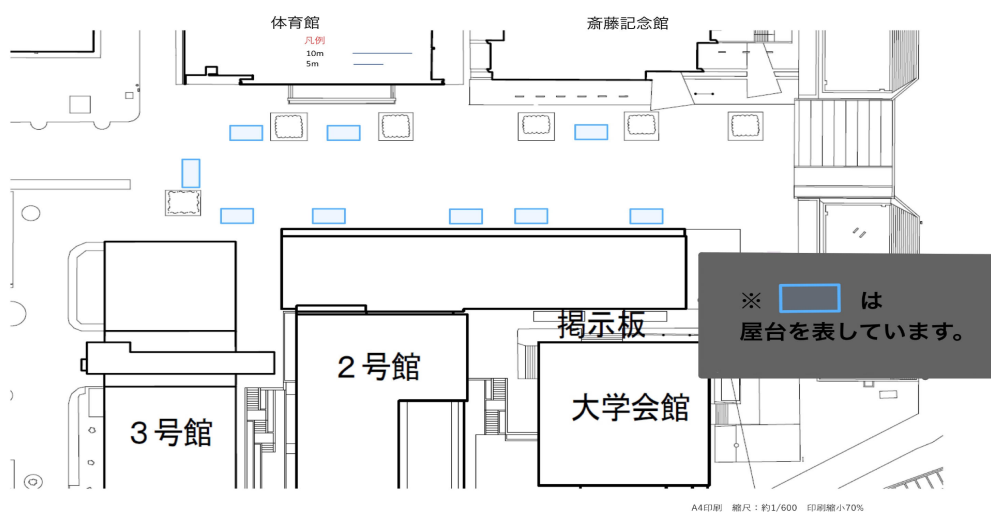


図1. 大通りの屋台配置



図2. 生協前の屋台配置

【広報企画】

①パンフレット

- ・各企画（ステージ・教室・屋台）の感染症対策を徹底するため、入場から退場までの流れをパンフレットに掲載する。
- ・対面開催で予想されるトラブルの解決方法を、パンフレットに Q&A コーナーとして掲載する。

②SNS での発信

- ・感染症対策について来場者に発信するため、入場から退場までの流れを、各企画のガイドラインに基づき、動画を作成して掲載する。
- ・屋台企画に関しては、飲食時の注意点をまとめた動画を掲載する。
- ・ステージ企画・教室企画に関しては、参加する際の注意点をまとめた動画を投稿する。
- ・掲載先は YouTube・Twitter・Instagram・第 26 回大宮祭公式ホームページ。

7. 大宮祭開催における基準

①判断時期

- 1 回目：3 月 22 日（火）
- 2 回目：4 月 22 日（金）
- 3 回目：5 月 13 日（金）12 時まで

②判断基準

形態	主な判断基準
中止	・活動制限指針（課外活動）レベル 4 ・実行委員の半数が感染又は、濃厚接触者等で参加できない場合
オンライン	・活動制限指針（課外活動）レベル 3
ハイブリッド（対面：学生）	・活動制限指針（課外活動）レベル 2 ・一都三県（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）にまん延防止等重点措置が発令
ハイブリッド（対面：制限なし）	・活動制限指針（課外活動）レベル 2

※主な判断基準が 2 個ある場合は、両方当てはまる場合のみ

※オンライン開催に移行した場合は、ステージ企画・オンデマンド企画・絵画コンクール（ホームページのみ）を行い、屋台企画・教室企画・実行委員主催企画（ステージ企画のビンゴ大会）は中止いたします。

※開催形態の決定後は、感染状況が好転した場合にも、規制の緩和等の措置は行いません。

③判断決定者

第 26 回大宮祭実行委員会委員長 延本翔

④決定連絡の流れ

1. 実行委員内で検討（2 日前）
2. 実行委員長が判断（前日）
3. 学生課へ報告、参加団体と参加企業への連絡（以下当日）
4. 学生課から学生センターなど関係各所へ報告
→学生課にお願いする。
5. SNS（Instagram、Twitter、YouTube 等）にて、一般の方へ連絡
→実行委員が行う。

芝浦工業大学 新型コロナウイルス対応

https://www.shibaura-it.ac.jp/about/info/crisis_management/covid-19.html

8. 緊急時の対応

大宮祭開催中に、感染が疑われる人（発熱・嘔吐・倦怠感などが見られる等）がでた場合は、委員長又は、副委員長が保健室及び学生課へ連絡する。体調不良者は、新型コロナウイルス感染症陽性者との接触、本人の体調を確認の上、基本的に帰宅していただきます。しかし、すぐに帰れない等の理由がある場合は、保健室ではない別室（3205 教室）で待機し、保健室職員が出向く。対応するスタッフはマスクの上からフェイスシールドを着用する。

帰宅時は、2 号館裏から帰宅させる。もしくは、保護者の方等に迎えに来ていただく。

9. 参考資料

- ・ NPB 新型コロナウイルス感染予防ガイドライン（有観客開催） <9月19日現在>
https://npb.jp/news/detail/20200918_02.html
- ・ 第21回生明祭 学園祭準備における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン
http://www.isc.meiji.ac.jp/~ikumeisai/assets/covid19_guideline6_21.pdf
- ・ 第53回井芹祭 コロナ対策ガイドライン
<https://www.sojo-u.ac.jp/news/docs/396aa42c1e95e5e4b51670416a38c705ebf42210.pdf>
- ・ 厚生労働省 新型コロナウイルス感染症発生時の業務継続ガイドライン
本ガイドラインの目的は大宮祭に参加される方並びに大宮祭開催にご協力いただいた関係者の方に安心かつ安全に https://www.mhlw.go.jp/topics/kaigo/osirase/tp0628-1/dl/130313-01_07.pdf
- ・ 音楽コンサートにおける新型コロナウイルス感染予防対策
https://www.acpc.or.jp/pdf/COVID-19/20211223_01.pdf